

令和6年度 第1回 早島支援学校 学校運営協議会 【記録】

1 日時 令和6年6月5日(水) 13:30~15:30

2 会場 岡山県立早島支援学校 大会議室

3 参加者 ・学校運営協議会委員11名
・事務局(事務部長、副校長、各部教頭、主幹教諭)9名

4 内容

(1) 開会行事

- ①開会挨拶 <校長>
- ②委員紹介 <自己紹介>
- ③会長選任
- ④会長挨拶 <会長>

(2) 説明

<事務局>

- ①学校運営協議会実施計画について
 - ・内容
 - ・年間スケジュール

(3) 授業参観

<各部教頭>

(4) 協議

<進行:会長>

- ①令和6年度学校経営計画について <校長>
 - 承認 地域とともに学校づくりを。
- ②重点協議事項について <事務局>
 - 「地域に開かれた学校づくり」
 - 安全に関する取組について <担当教頭>
 - ・合同防災訓練
 - ・引き渡し訓練
 - 進路に関する取組について <担当教頭>
 - ・地元企業の支援による進路学習、産業現場等における実習
 - ・教育 DX ハイスクール
 - 地域交流・地域貢献に関する取組について <担当主幹>
 - ・学習の製品販売
 - ・地域での学校紹介
 - ・地域の小中学校、高校との学校間交流、居住地校交流
 - ・地域貢献について
 - その他
 - ・ボランティアの募集
 - 質疑応答

◆作品展…色使いや個性的な作品で心が動く。11月3日にぜひ参加を。生涯学習課と連絡済み。(中元様)

◆社協での製品販売…いきいき広場(11月3日)での販売はどうか。多目的ホールでみんなと一緒にワークショップができればいいと考えている。(中元様)

◆機器を活用することによって可能性が広がっている。(中島様)

(5) 各委員から

野中委員…学校の中を参観でき貴重な経験ができた。学びの現場を見ることは情報量が多くよかった。今後とも地域に開かれた学校に協力していきたい。社会福祉協議会も地域に開かれた社会福祉協議会を目指している。社会福祉協議会の見学を依頼されたことがあった。いつでもどうぞ。常設で作品の展示棟に対応していきます。

名倉委員…生き生きと授業を受けていた。力をもらった。個々の生徒の状況に合わせた工夫がしっかりとされている。体の状況に合わせた本人の参加への工夫。先生方の日ごろの実態把握がしっかりとできているからこそ。その人の身体の使い方や力に合わせた工夫は一人一人を細やかに把握されているからこそ。だから生き生きとしている。あいさつもできていた。

中元委員…職員のチーム力がよい。働き甲斐のある職場づくりがなされていることが、子どもの伸びやかな成長につながっている。

平岡委員…西日本豪雨のときにまきび支援の生徒を担当していた。そのとき、早島支援に来る機会があった。相談支援専門員としての立場で、卒業後の生活を考えながら見学をした。仕事以外にも、生活介護等を利用する生徒もいる。中1のころから事業所を探していく現状。空きがない。そのあたりでも協力できたらと思っている。

田野委員…あたたかい気持ちになった。勉強になった。個別最適化の学びとはという部分、子どもたちを理解し、授業をどうつくっていくか、子どものつまずきに気づきどう支援をしていくか、とても参考になった。美術の作品の展示。9月13日か14日の金曜日に一緒に出展できる。

花元委員…卒業後の進路。卒業が保護者の子育ての卒業とはならない部分がある。保護者の人生設計も一緒に考えていかないといけない。倉敷市心身障害者父母の会に参加した。在宅か、入所かで悩んでいるケース等、さまざまなことを考えていくことも大事だが、考えすぎても仕方ないこともあり、バランスが大事。卒業後の方が保護者の時間は無くなるのではないか…。

(6) 閉会行事

本日の発言、記録をHPにあげる。→了承

※ この後、引き続き学校関係者評価委員会を行います。